

音声録音ソフトの導入(8)

—Sound Pat の評価(1)—

1. 始めに

前報(7)まで Moo0 による録音を実施してきましたが、今回、音声録音ソフトを替えて録音してみます。

2. Sound Pat による録音と録音音源の試聴方法

前報(7)までの Moo0 に替えて、今回は NCH 社の [Sound Pat](#) を使用して下記の音源から録音します。

BPODCH

YouTube

PC は SWD-DA20 に接続し、Sound の設定は、44.1KHz24bit です。44.1KHz16bit を選択しようとしたのですが、Sound のメニューに出てきませんでした。

試聴は、Hi-Res Editor で再生し、SWD-DA20 に送り出します。

なお、動画のダウンロードも [Craving Explorer](#) により試みました。

3. Sound Pat による録音と試聴結果

SWD-DA20 で再生しながら録音しようとしたのですが、録音が始まりません。設定をみると、デフォルト入力とマイク入力しかなく、どうやら USB DAC を繋ぐと駄目なようです。試みに、Moo0 に替えますと、SWD-DA20 で再生しながら録音することは可能でした。

そこで録音は SWD-DA20 との USB 接続を外して録音し、再生は SWD-DA20 との USB 接続を復元して実施しました。



BPODCH 2020.5.16 収録

ポール・デュカス：

《ラ・ペリ》のファンファーレ（セバスティアン・ハンドル編曲による金管楽器とオルガンのための版）



ベートーベン：ピアノ協奏曲 5 番皇帝

<https://www.youtube.com/watch?v=3TiYGxOQDYw>

なお、試みに動画についても、以前に Mooo0 で録音した同じ YouTube の音源が Craving Explorer でダウンロードできましたが、BPODCH やウイーン国立歌劇場の配信先からの動画のダウンロードはできませんでした。



ベートーベン：合唱幻想曲

<https://www.youtube.com/watch?v=4I8AT3S3iRc>

4. まとめ

Moo0 録音音源と同様、Sound Pat 録音音源の音質は元音源のクオリティに依存しますが、Moo0 録音音源と同様の音質が確保できました。

以上